

風しん(三日ばしか)

接種回数・接種量

	接種対象	接種回数	接種量
任意接種	生後 12 カ月以上	1～2 回	0.5 ミリリットル皮下接種

風しんについて

- 風しんの流行はアジアなどでまだ続いています。
1 歳以上で 2 回の接種が勧められています。
特に海外渡航時には、抗体検査をして、免疫のない方に接種をお勧めしています。
- 接種後 2 週間頃に、発疹や 38 度前後の発熱が出る場合がありますが、数日で消失します。
- 妊娠初期に風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんに心臓の先天異常、白内障、聴覚障害、知能障害などが生じる先天性風疹症候群になってしまうことがあります。これを防ぐため、妊娠する女性は風しん抗体が HI 法で 32 倍未満の時には、風しんワクチンを接種してください。
- 接種後は 2 カ月避妊が必要です。

風しん第 5 期について

- 風疹の接種を受ける機会のなかった 1962(昭和 37)年 4 月 2 日から 1979(昭和 54)年 4 月 1 日生まれの男性は、風疹の抗体保有率が他の世代に比べて、低く(約 80%)なっています。
- 上記の方は風疹抗体検査・予防接種が公費で受けられます。
名古屋市が発行した有効期限が「2020 年 3 月」「2021 年 3 月」「2022 年 3 月」「2023 年 3 月」と印字された風しん無料クーポン券は「2024 年 3 月」まで使用可能です。(過去の罹患歴、接種歴、抗体検査歴により、対象外となる場合もあります。)
- 検査で抗体が十分でない方は、MR(麻しん風しん混合)ワクチンを接種抗体します。
- 2022 年 1 月に未検査の方などを対象にクーポン券が一斉再送付されています。
- クーポン券が届きましたら、抗体検査の予約をお取り下さい。

名古屋市の風しん助成について

名古屋市では、風しん5期の対象外でも以下の方は風しん抗体検査・予防接種が公費で受けられます。（過去の罹患歴、接種歴、抗体検査歴により、対象外となる場合もあります）。

1. 妊娠を希望する女性
2. 妊娠を希望する女性のパートナー及び同居人
3. 妊婦のパートナーおよび同居人

抗体検査で抗体が十分でない方は、MR（麻しん・風しん混合）ワクチンを接種します。
対象の方は、予約担当スタッフにお問い合わせください。

助成についての詳細は名古屋市のホームページでご確認ください。